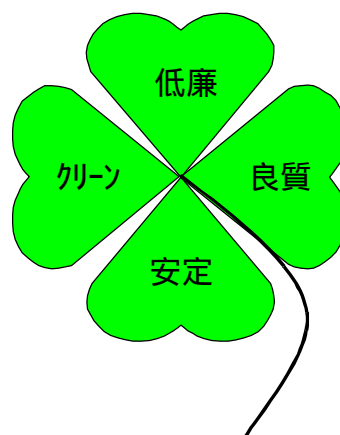


# 平成 15 年度経営効率化計画

—— 信頼され選択される  
「北陸電力ブランド」の充実を目指して——



平成 1 5 年 3 月

 北陸電力株式会社

## はじめに

電気事業をめぐる状況は、本年2月に、総合資源エネルギー調査会・電気事業分科会において、発送一貫体制のもと、公平な競争を促す諸制度の導入や、電力小売自由化範囲の段階的拡大などを内容とする電気事業制度の改革案がとりまとめられ、経済産業大臣に答申されました。

これを受けて、電気事業法および政省令の改正が予定されており、平成16年4月には、ご契約電力500kW以上、平成17年4月には同50kW以上のお客さまは、自由に電気の購入先を選択できることとなります。

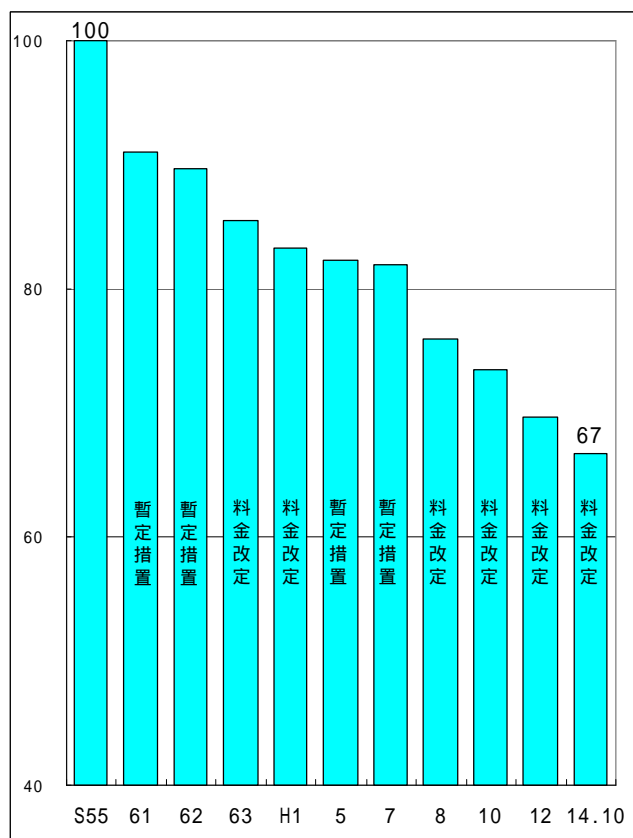
当社は、お客さまに「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドの電気をより快適に、より効率的にお使いいただけるよう、お客さまニーズに迅速かつ的確にお応えする個別提案型「技術営業」など販売拡大を強力に展開するとともに、従業員数の削減、設備投資や修繕費の抑制など価格競争力を一層強化してまいります。

一方、当社がかねてより、志賀原子力1号機の安全・安定運転を第一に、原子力に対する安心と信頼の確保に努めてまいりましたが、昨年9月からの総点検結果を踏まえ、今後、更なる品質保証・監査の強化、情報公開の充実に取り組むとともに、事業運営全般について、従業員一人ひとりが「行動規範」を遵守するなど企業倫理の徹底を図り、お客さまや社会とより強固な信頼関係を構築していきたいと考えております。

また、将来にわたる安定供給の確保や地球温暖化防止の観点から、引き続き、志賀原子力2号機の建設を着実に推進してまいります。

当社にとって2005（H17）年度は、小売自由化範囲の拡大と志賀原子力2号機運転開始が重なる極めて重要な年であり、迅速果断に経営諸課題に対処するため新たに設置した「2005委員会」のもと、北陸電力グループの総力を結集して、販売拡大とコストダウンを柱とする経営改革を断行し、経営基盤の強化を図り、お客さまや株主などから選択される企業を目指してまいります。

## 電気料金推移



## 2号機完成後の志賀原子力発電所(予想図)



## 経営指標の推移

(億円, %)

	H 9	H10	H11	H12	H13
経常利益	245	206	301	340	330
ROA	3.1	2.7	2.9	3.2	3.3
自己資本比率	19.0	19.2	19.4	20.5	21.0
有利子負債残高	10,720	10,693	10,790	10,817	10,519

お客さまの多様なニーズや電気のご使用実態に、  
よりきめ細かくお応えするため、料金メニューの充実を図るとともに、  
H12年10月に規制部門平均5.57%、H14年10月に同5.32%  
の電気料金の引下げを行っております。

## (経営目標)

- ・ 経常利益 **300億円以上**
- ・ ROA (総資産営業利益率) **3%**
- ・ 自己資本比率 **25% (平成20年度までに)**
- ・ 有利子負債残高 **9,000億円以下 (平成20年度までに)**

## (グループ経営目標)

[電気事業以外の売上高] 平成13年度対比50億円増(平成17年度までに)

以下の重点方針のもと、全力で経営改革を断行してまいります。

1. 北陸電力グループあげての業務革新
2. お客さまのニーズにお応えする販売拡大
3. 効率的な設備形成と運用
4. 環境保全活動の展開

# 1. 北陸電力グループあがての業務革新

お客さまや社会から信頼される企業を目指して、すべての従業員が「行動規範」を遵守し、責任ある業務を遂行するとともに、情報公開による透明性の確保に努めます。

また、グループをあげて、ERP<sup>\*1</sup>の活用等により人件費をはじめとするあらゆるコストの見直し・削減を図り、すべての事業分野でのトップランナーを目指します。

\*1 ERP (Enterprise Resource Planning 統合基幹業務システム)

生産、販売、物流、財務、人事など企業の基幹業務を組織横断的に把握し、全社的に経営資源の活用を最適化する計画・管理のための経営手法の概念を実現するための国際標準の業務プロセスを組み込んだ統合システム。

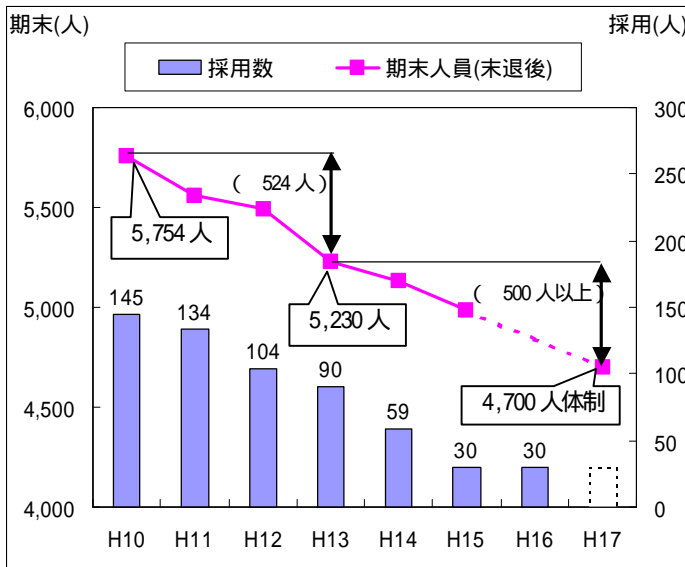
業務効率の向上などにより、

平成17年度末までに当社従業員数4,700人体制での事業運営を目指します。

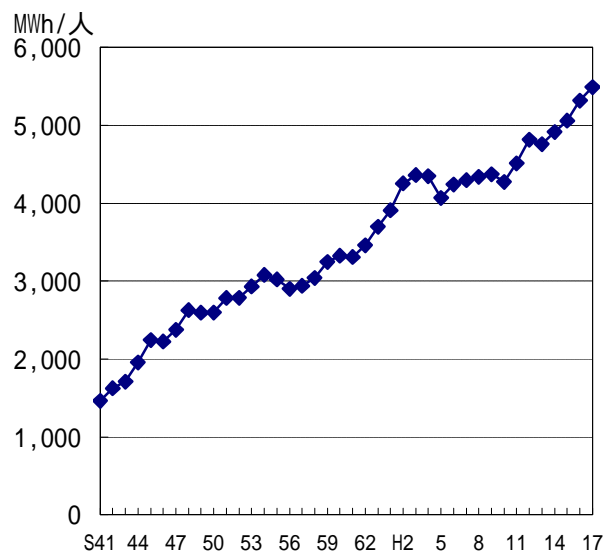
(平成10年度対比1,000人以上削減 平成13年度対比500人以上削減)

諸経費を年間10億円以上削減(平成14年度対比)

期末人員と採用人員の推移



労働生産性(1人あたり販売電力量)の推移



## (1) 信頼される企業風土の構築

- ・企業倫理情報窓口(ホイッスル北電)の設置(H15/2)による社内外からの通報受付
- ・コンプライアンス教育の強化
- など、コンプライアンス推進委員会を中心に企業倫理の徹底を図ります。
- ・原子力への社会的信頼・安心への取組み強化
- ・積極的な広報・広聴活動の展開

など責任ある業務の遂行と透明性の確保に努めます。

### コンプライアンス推進委員会

- ・社長を委員長として設置(H14/9)
- ・「行動規範」の制定(H14/9)
- ・社外第三者委員への委嘱(H15/2)による委員会の透明性の確保

(2) 企業活力の醸成

- ・北電ビジネスカレッジの実施
  - ・深センテクノセンターへの派遣など  
海外実践研修の実施
  - ・専門知識、技術の向上を目指した  
スペシャリスト教育の強化
- などの実践教育により、  
能力の向上と発揮に努めます。

深センテクノセンターでの実践研修



(3) 業務運営体制の見直し

技術力の保持・強化と更なる業務効率化  
を目指した業務運営体制に見直すとともに  
市場環境の変化に迅速かつ機動的に対応  
していく組織基盤を構築してまいります。

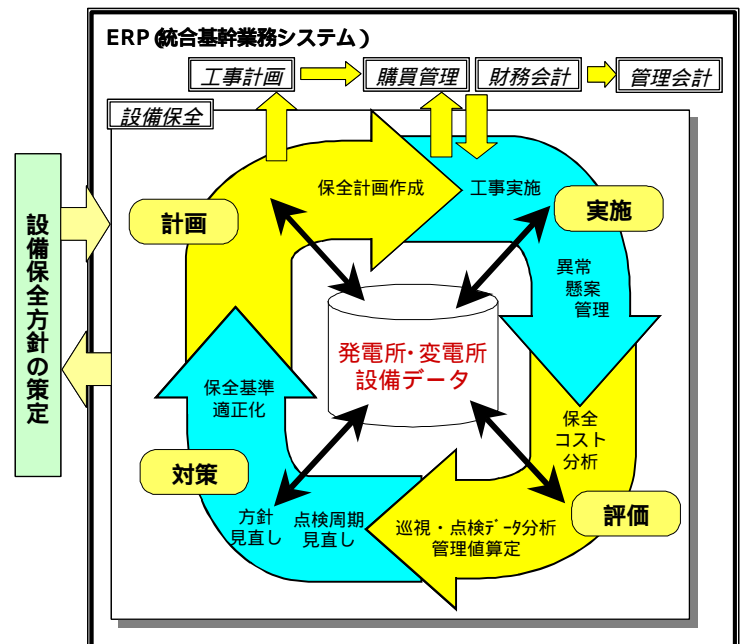
- ・支店・支社営業部
- ・支店・支社管理間接部門
- ・支店技術部、支店・支社電力部
- ・火力発電所

(4) E R Pを活用した効率化の推進

- ・設備履歴データの活用による  
保全コストの削減
- ・工事積算データ活用による  
調達コストの低減

など、平成 14 年度末に本格運用を  
開始した E R P を活用し、効率化を  
推進してまいります。

E R Pを活用した設備保全コスト削減



(5) グループトータルとしての効率化の推進

- ・富山共同火力発電株式会社および  
福井共同火力発電株式会社と  
当社との合併(H16/4)

などにより効率化を推進してまいります。

両共同火力の概要

	資本金 (億円)	発電設備	
		出力 (万 kW)	燃料
富山共同火力発電株式会社	85	25 × 2	重油・石炭
福井共同火力発電株式会社	45	25	重油

## 2. お客様のニーズにお応えする販売拡大

電力小売自由化範囲の拡大に向けて、お客様を積極的に訪問するとともに、電気の効用をお届けするという理念のもと、お客様の多様な課題・ご要望に迅速かつ的確にお応えする個別提案型「技術営業」を強力に展開してまいります。

また、グループ全体の経営資源等を活用して事業領域の拡大を目指してまいります。

### (1) 電力小売自由化範囲拡大に向けた販売体制の強化

- ・電気、熱などに関する専門知識が豊富な技術者の投入
- ・役職者の重点投入

による専門職の設置などにより、お客様ニーズにお応えする訪問・提案活動を強化してまいります。

### (2) 個別提案型「技術営業」の強力な展開

- ・蓄熱式空調システム(エコ・アイス等)や電化厨房の推奨
- ・お客様のエネルギー効率、環境、安全性等お客様のニーズにトータルでお応えするコンサルティング活動の展開

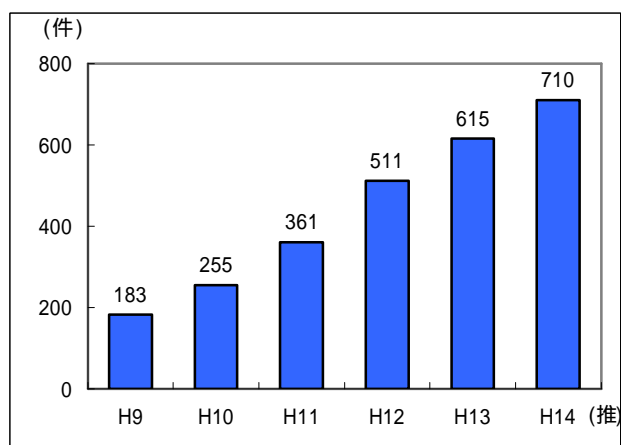
などに努め、より便利に効率的に電気をお使いいただける提案活動を展開いたします。

### (3) より快適な生活をご提案するオール電化住宅の推奨

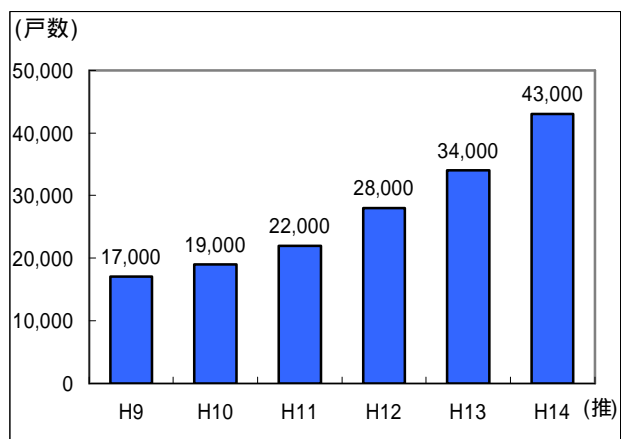
- ・「ほくでん住まいの倶楽部」やハウスメーカー、工務店・リフォーム店などのネットワークによるお客様への情報発信
- ・「エルフショップ」、「お湯ドクター」、「eドクター」等のネットワークの充実による200V機器の普及拡大
- ・女性社員専門チーム(生活プランニング担当)によるオール電化住宅の推奨
- ・イニシャルコスト低減のお客様ニーズにお応えする電気温水器、クッキングヒーター、蓄熱式暖房器のレンタル制度活用
- ・移動実演車「クックライフ号」や熱源比較装置等を活用した実演によるオール電化住宅PR

などにより、販売体制を強化し、オール電化住宅の普及拡大に努めてまいります。

蓄熱式空調システム導入の累計



オール電化住宅累計件数



移動実演車 クックライフ号





- (4) サービス体制・料金メニューの充実      お客さまサービスセンターでの応答状況
- ・お客さまサービスセンター  
(コールセンター)の運用体制の充実
  - ・お客さまのご要望にお応えする  
料金メニューの充実  
などに努めております。

- (5) 企業誘致活動の推進
- 自治体や関係諸団体と一体となった  
企業誘致活動を推進してまいります。

新たな料金メニュー

ご家庭向け	エルフVあったかプラン (H13/11)	エルフナイト10にご加入のお客さまで電化給湯設備、電化厨房設備、および電化冷暖房設備をご使用になる場合に、電気料金が割引になります。
	エルフナイト10プラス (H14/10)	夜間、朝夕や夏季以外のご使用量を増やしていただくほど、電気料金がお得になります。
	エルフSプラン (H14/10)	電化給湯設備および電化厨房設備をご使用になる場合に、電力量料金が割引になります。
商店・工場向け	高負荷率電灯 (H14/10)	夏季以外への負荷移行を行っていただく場合などにお得になります。
	ステップアップ・プラン (H14/5)	夜間や休日を中心にお客さま設備の稼働率向上を図っていただける場合にお得になります。
	業務用電化空調システム契約 (H14/10)	電気空調システムの使用電力量を対象に割引メニューです。

- (6) 新規事業への取組み
- ・グループの経営資源を活用した  
電気事業以外の売上拡大に努めてまいります。

最近の主な新規事業

関連分野	事業	概要	実施主体
エネルギー	お客さま電気設備保守サービス	・受電設備、コージェネ等のお客さま電気設備の設置工事、保守・点検サービス	北電テクノサービス 北陸発電工事 北陸電気工事
	エネルギー管理支援サービス	・お客さまのエネルギー計測管理	北電アクト
	LNG販売	・北陸地域の都市ガス事業者へのLNG卸販売	北陸エルネス
I T	データセンター	・お客さまのサーバーをお預かりする「ハウジングサービス」 ・お客さまにサーバーをお貸しする「ホスティングサービス」 ・お客さまに業務用ソフトウェアをお貸しする「ASP事業」	北電情報システムサービス
	ADSL関連	・NTTの加入者回線を用いてインターネット用の通信回線を定額でご提供 ・ADSLでもPHSでも使えるインターネット接続の割引メニュー(ねっとキョーダイ)をご提供	北陸通信ネットワーク
	ポータルサイト(実証試験中)	・地域の暮らし・事業運営のお役に立つ様々な情報・サービスをご提供	-
環境	機密・保存文書リサイクル	・移動処理率による現地処理サービス ・選別処理施設による分別処理サービス	ジェスコ
	ISO取得コンサルティング	・「ISO14001」の認証取得のためのコンサルティング	日本海環境サービス
	プラスチックリサイクル	・自治体が回収したプラスチック製容器包装材を再生プラスチック・再生油にリサイクルし、地域に販売(H15.4事業開始予定)	プリテック (H14.7設立)
生活	賃貸アパート	・オール電化アパートの建設・賃貸	北電産業

### 3. 効率的な設備形成と運用

志賀原子力2号機の建設や基幹系統の整備を進めるなど、将来にわたる安定供給の確保、供給信頼度の維持、環境保全の社会的使命を果たしつつ、投資効率を重視した設備形成を図るとともに、修繕費の抑制や経年石油火力の廃止など、設備全般にわたる効率的な運用などに努めてまいります。

#### (1) 設備投資・修繕費の抑制

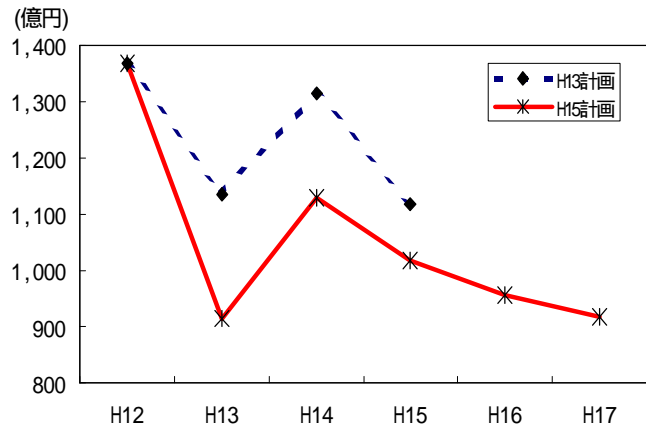
##### <設備投資額>

- ・設備投資基準の見直し，設備仕様の見直し，工法の改善などにより，

設備投資額をH15～H17年度の3年間平均で1,000億円以下に抑制

を図り，フリーキャッシュフローの改善やROAの向上に努めてまいります。

設備投資額の推移



##### <修繕費>

- ・設備保全方法の見直しなどにより，修繕費を抑制してまいります。

なお，資機材調達にあたっては，仕様の汎用化・簡素化などを行うとともに，競争入札に加え，ターゲットプライス方式や電子商取引の拡大，海外調達の拡大等により，調達価額の低減を図ってまいります。

志賀原子力2号機の建設



原子炉格納容器配管モジュールの吊り込み

##### <資産効率の向上>

- ・老朽劣化が著しく進み，高コストとなっている石油火力設備を安定供給の範囲内で廃止いたします(H16/3)。
- ・今後活用が見込まれない資産の除却，売却などを行ってまいります。

廃止する経年石油火力ユニット

		出力 (万 kW)	運開	燃料
廃止済 (H13/12)	富山火力発電所 2号機	15.6	S41/2	原油
	同 1号機	15.6	S39/8	原油
廃止 予定 (H16/3)	同 3号機	25	S44/11	原油
	福井火力発電所 1号機	35	S48/1	重油・原油



## (2) 供給信頼度の維持

- ・能越幹線（50万V H17/6 運開）新設  
など基幹系統の強化
- ・送配電線の雷害・雪害対策等の実施
- ・雷・気象情報システムの活用
- ・工事関係者と一体となった自主保安  
体制の徹底
- ・雷センターにおける雷害対策研究の  
一層の推進

など、責任ある供給者として、今後とも、  
供給信頼度の維持に努めてまいります。

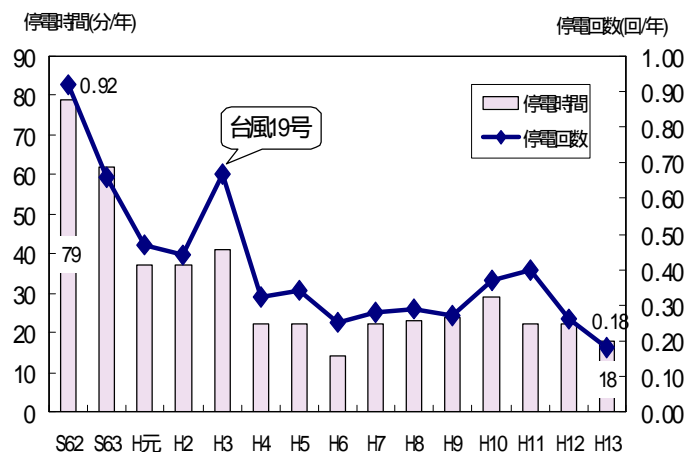
## (3) 需給安定と効率的運用

- ・志賀原子力1号機の安全・安定運転
- ・受電会社の需給安定と当社設備の  
有効活用を図る広域融通の実施

などにより、需給安定と効率的な運用に  
努めてまいります。

また、燃料の調達にあたっては、  
安定確保に配慮しつつ、マーケット状況に  
応じた経済的な調達に努めてまいります。

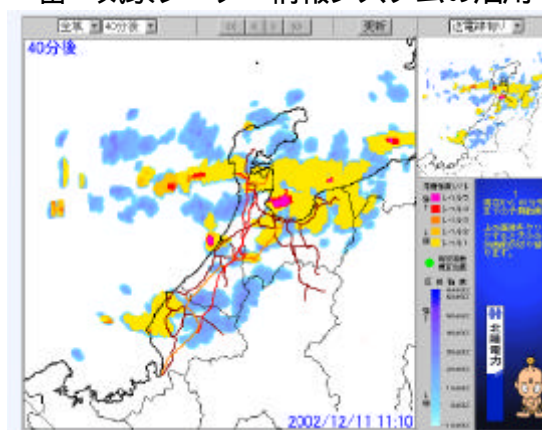
## お客さま一戸あたりの年間停電時間・回数



## 雪中保守作業



## 雷・気象レーダー情報システムの活用



落雷予測情報（落雷強度レベル表示）

## 雷センター

### お問い合わせ先

[インターネットホームページ]  
<http://www.kaminari-center.com>  
 [お問い合わせ先]  
 076-439-5656

## 4 . 環境保全活動の展開

京都議定書受諾や省エネ法の改定・R P S法<sup>\*1</sup> 制定等を受けて、原子力や自然エネルギーの着実な推進など地球温暖化防止への対応を図るとともに、循環型社会形成に向けた3 R<sup>\*2</sup>を推進し石炭灰をはじめ廃棄物のリサイクルなど、環境負荷低減に資する取組みを展開してまいります。

\*1 : R P S法(Renewables Portfolio Standard :

電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法)

\*2 : Reduce(廃棄物の発生抑制), Reuse(再使用), Recycle(原材料としての再利用)

### (1) 地球温暖化防止対策の推進

#### a . 原子力への取組み

- ・ 志賀原子力1号機の  
安全・安定運転の徹底  
定格熱出力一定運転
- ・ 志賀原子力2号機建設工事の着実な推進  
(平成18年3月運転開始予定)

#### b . 自然エネルギーの推進

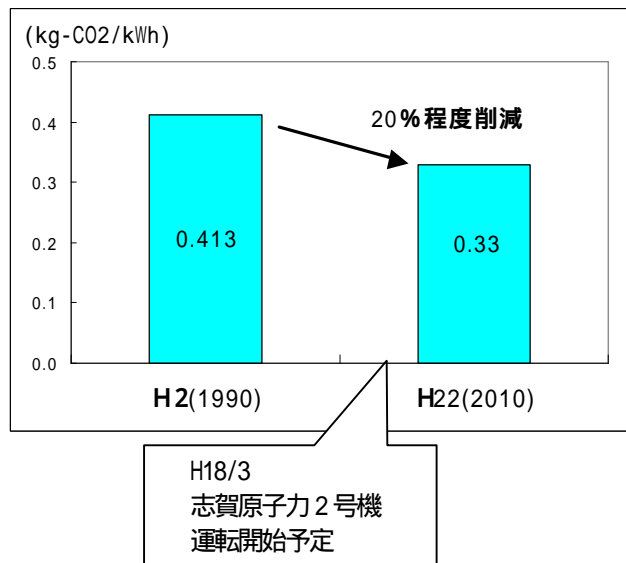
- ・ 風力発電の購入入札の実施
- ・ 北陸グリーン電力基金への支援

#### c . 海外における研究植林の実施

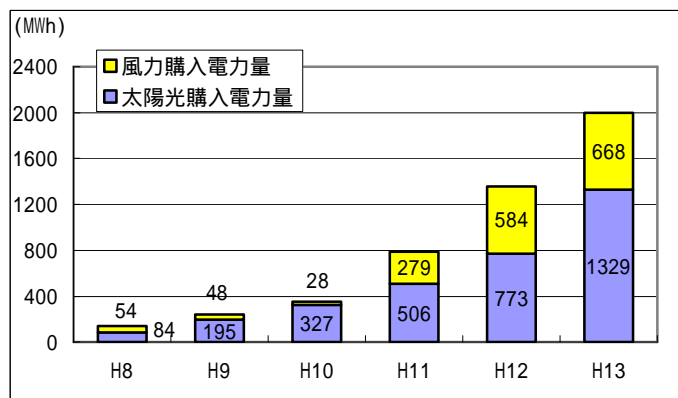
- ・ 豪州クィーンズランド大学等との  
共同研究

などにより、CO<sub>2</sub>排出量の抑制に努めてまいります。

電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量目標



太陽光・風力からの電力購入の推移



また、ガス遮断機等に使用している六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)の回収や、代替フロン消費量の削減など温室効果ガス対策やペーパーレス化にも引き続き取り組んでまいります。

#### 加入申込み

- ・ 募集金額：500円/口・月
- ・ 電気料金と同時に寄付金も振替えさせていただきます
- ・ お申込み先：最寄りの北陸電力窓口  
フリーダイヤル  
0120 167540

## (2) 循環型社会形成に向けた取組み

- ・石炭灰など，発電・送電・配電の各分野から発生する産業廃棄物の有効利用
- ・環境への負荷が少ない製品を購入する「グリーン購入」の推進

などにより環境保全に努めるとともに，

- ・北陸3県オフィス古紙リサイクルの推進
- ・「(株)ジェスコ」による機密文書リサイクル事業
- ・「(株)プリテック」によるプラスチックリサイクル事業

など，地域の皆さまと一体となったりリサイクル活動を引き続き推進してまいります。

## (3) 環境汚染物質削減に向けた取組み

- ・絶縁油リサイクルセンターの運転開始 (H15/5 予定)
- ・特定化学物質の適正管理

などを行ってまいります。

## (4) 省エネルギーの推進

- ・お客さまへの省エネルギーコンサルティング活動の推進
- ・自社施設等の省エネルギー
- ・エネルギー科学館(ワンダーラボ)等での省エネルギーPR活動の推進

などを実施してまいります。

## (5) 環境マネジメントシステムの推進

- ・国際規格 ISO 14001 認証取得成果の水平展開など，環境マネジメントシステムの定着と継続的改善を推進してまいります。

## 石炭灰有効利用

### フライアッシュ

- ・コンクリート混和材，タイル原料 など

### クリンカアッシュ

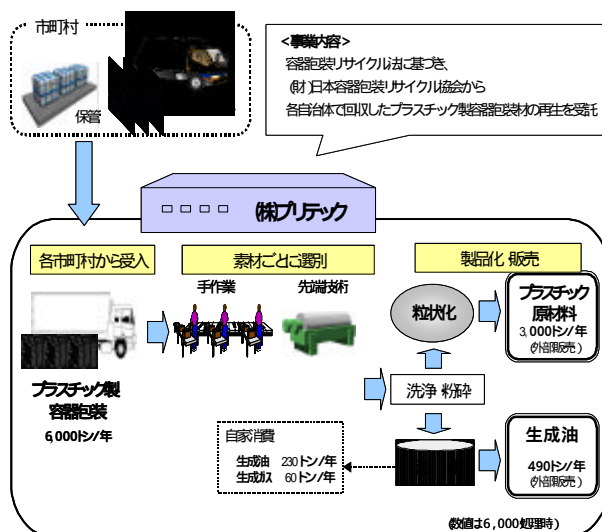
- ・道路下層路盤材，土壤改良材 など

国内の電力会社で唯一，セメント原料として海外(韓国)への輸出実績を有しております。



韓国向け石炭灰の船積み作業

## プラスチックリサイクル事業



## 絶縁油リサイクルセンター



**企業理念**

**Power & Intelligenceで  
ゆたかな活力あふれる北陸を**

**コーポレート・スローガン**

**暮らしに夢をともらいたい**

当社は、情報窓口やインターネットを通じて積極的な情報発信に努めております。今後とも、お客さまとの対話活動等により広くご意見をいただき、迅速に当社の経営に反映してまいります。

お気軽に下記フリーダイヤル、インターネットをご利用下さい。

フリーダイヤル

インターネットホームページの当社アドレス

インターネットメールの当社アドレス

イロンナゴヨウヲ  
0120 - 167540

<http://www.rikuden.co.jp/>

[pub-mast@rikuden.co.jp](mailto:pub-mast@rikuden.co.jp)